

令和元年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO. 5)

令和元年 9月 5日
水産技術総合センター

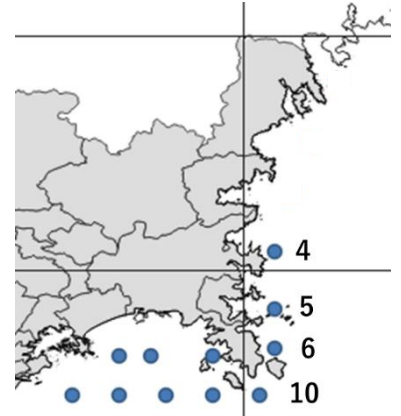
- 1 調査月日 令和元年 9月 3日
- 2 調査地点 右図の4定点
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)

1) 水温: 表層で 21.1~22.9°Cの範囲にあった。

2) 貝毒原因プランクトン出現数

・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は、St. 5 と St. 6 で 10 細胞/L が確認されました。

・下痢性貝毒原因プランクトン (*Dinophysis acuminata*) は、St. 4 で 10 細胞/L が確認されました。 *D. fortii* は確認されませんでした。



調査地点図

調査結果表 (4 定点)

St.	時間 水深 (m)	測定層 (m)	透明度 (m)	水温 (°C)	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)						
						<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属
						9月3日	7月31日	9月3日	7月31日	9月3日	7月31日	
4	11:49 83.0	0	11.0	21.7	33.7	0	0	0	0	10	0	10
		10		21.2								
		20		20.6								
		30		19.4								
5	11:02 29.0	0	9.0	22.0	33.6	10	0	0	0	0	0	0
		10		21.0								
		20		20.2								
		29		19.7								
6	10:21 65.0	0	9.0	21.1	33.4	10	0	0	0	0	0	0
		10		21.5								
		20		20.1								
		30		19.1								
10	9:34 83.0	0	8.0	22.9	33.5	0	0	0	0	0	0	10
		10		21.8								
		20		20.3								
		30		19.8								
		40		19.3	33.8							

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水